

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業	
事務事業名	橋りょう長寿命化修繕				事業番号	019-060	
担当部署名	建設局	局	道路部	部	道路整備課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～		施策	(2)都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築		
			有	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	補修が完了した橋りょう数					
			有	現状値	—			目標値	80橋(2021～25年度の累計)	
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.7		
			有	取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—			目標値	—	

2	関連計画	堺市公共施設等総合管理計画、堺市国土強靱化地域計画、堺市橋梁長寿命化修繕計画、堺市橋梁耐震事業計画、堺市道路維持管理計画		
3	事業開始年度	平成 20 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	道路法・河川法・港湾法・鉄道営業法		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	橋りょうを通行する人及び車並びに施設沿道の住民及びその財産				対象数	単位
						—	—
7	事業の目的	本事業は、市民の安全・安心を確保するために、本市が管理する橋りょうを対象に、堺市長寿命化修繕計画に基づき、予防保全型の考えを取り入れた維持管理を計画的に進め、橋を良好な状態で維持しながら、将来にわたる維持管理費用の平準化を図ることを目的とする。					
8	事業内容	本市が管理する橋りょう753橋について、5年に1回の点検を定期的に行うことで、常に最新の健全度を把握し、その結果を反映した堺市長寿命化修繕計画に基づき、計画的に橋りょうの補修工事等を実施する。 年間事業 補修設計 16橋程度 補修工事 16橋程度 定期点検 150橋程度					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	業務並びに工事の受注者、西日本旅客鉄道株式会社					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	補修が完了した橋りょう数（補修が完了し安全性が向上した橋りょう数）	橋	目標値	64	80	16	80
			実績値	69	82		
			達成率	108%	103%		
	当該指標を選定した理由	予防保全型の考えを取り入れた維持管理が計画的に進めていることを把握するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和8年度からは新たに堺市基本計画2030で定めた指標に対する目標値を設定（2026～30年度の累計で80橋）					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	工事発注数	橋	目標値	16	16	16	
			実績値	16	17		
			達成率	100%	106%		
	当該指標を選定した理由	橋梁長寿命化修繕計画に基づき実施している橋りょうの維持管理について、年度毎の進捗状況を把握するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	維持管理費用の平準化を図り、策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき目標値を設定					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	橋りょう長寿命化修繕	事業番号	019-060
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	1,128,283	1,044,004	2,099,968	1,192,851	2,121,272
	国支出金	400,817	370,729	671,315	385,320	616,570
	財 府支出金	0	0	0	0	0
	源 市債	637,300	590,900	1,273,900	700,800	1,310,700
	内 その他（公共施設等特別整備基金繰入金）	70,000	10,321	0	0	10,600
	訳 受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	20,166	72,054	154,753	106,731	183,402
14	人件費（b）	48,600	48,600	67,200	67,200	43,500
15	年間経費（c）=(a)+(b)	1,176,883	1,092,604	2,167,168	1,260,051	2,164,772

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	橋りょう長寿命化修繕工事	R7	決算	961,023	40,553	P C B 処分業務	R7	決算	8,075	8,075
		R8	予算	1,425,272	78,652		R8	予算	3,000	3,000
	橋りょう補修詳細設計等業務	R7	決算	69,895	795	橋梁維持管理支援業務	R7	決算	264	264
		R8	予算	125,000	9,700		R8	予算	1,000	1,000
	他事業者への委託業務及び工事	R7	決算	29,920	14,520	有害物質特定調査業務	R7	決算	0	0
		R8	予算	57,000	23,750		R8	予算	1,000	1,000
	工事監理業務	R7	決算	42,823	2,923	PCB運搬委託業務	R7	決算	1,731	1,731
		R8	予算	112,000	6,050		R8	予算	2,000	2,000
	橋りょう定期点検業務	R7	決算	79,120	37,870	負担金、補助及び交付金	R7	決算	0	0
		R8	予算	150,000	43,200		R8	予算	245,000	15,050

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 工事発注数		16	17
	② 上記①にかかる年間経費	千円	714,759	679,395
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	44,672,438	39,964,412
	算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和7年度の工事発注数は17橋であり、また、補修が完了した橋りょう数は令和6年度からの継続事業4橋及び令和7年度の実施事業9橋となり合計13橋の補修が完了した。
	事業の効率性については、令和7年度の実績は1橋当たり約40,000千円の経費を要し、令和6年度と比べて減少した。これは、橋りょうごとに規模や損傷状況が異なるため、橋りょうによって補修に要する経費にばらつきが生じたものであり、長寿命化修繕計画に基づく工事の進捗に影響はない。
	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に橋りょうの点検、診断、補修などを実施し、維持管理を行う本事業は、市民の日常生活、社会経済活動を支える道路交通ネットワークの形成に寄与すると同時に、維持管理費用の平準化を図ることができるため費用対効果は高いと考えられる。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	堺市基本計画2025において、KPIに掲げていた「補修が完了した橋りょう数80橋（2021～25年度の累計）」については、令和7年度に13橋の補修工事を完了させ、補修が完了した橋りょう数は82橋となり、KPIの目標を達成した。

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	本市が管理する橋りょうについて計画的に補修工事等を実施することで、橋を良好な状態で維持するとともに、将来にわたる維持管理費用を平準化することができた。
	有効性	■ 高い □ 低い	